

2 6つのまちづくり目標の進捗状況

①暮らしを大切にするまち(生活環境の保全)

項目	課名	平成20年度の実施状況
エコドライブの推進	環境保全課	ニームス活動における環境活動チェックシートのチェック項目の一つに掲げ、各課所が自主的に取り組んでいる。
低公害車等の普及	管財課	低公害車(軽四箱バン)3台購入。
公共交通機関の積極的利用	環境保全課	職員の通勤時にエコ通勤デーを月2回設定し、推進した。
自転車利用の再評価	環境保全課	職員のエコ通勤を推進することにより、自転車の利用促進を図った。
交通渋滞対策	道路課	・新居浜駅菊本線一工事 ・西町中村線一用地買収・工事 ・角野船木線一用地買収・工事
沿道環境対策	道路課	・新居浜駅菊本線一工事 ・西町中村線一用地買収・工事 ・角野船木線一用地買収・工事
公害防止施設の指導	環境保全課	野焼き以外の大気汚染苦情処理件数は8件で、そのうち焼却炉の使用が適切でないことによるものは2件あった。
簡易焼却炉等の指導	環境保全課	苦情発生時に簡易焼却炉の構造基準を満たすよう指導を行った。
化学物質等の適正管理	環境保全課	パンフレット等により広報。
大気汚染監視システムの充実	環境保全課	市内6測定局において引き続き監視を行なった。
野焼き防止対策	環境保全課	野焼きの苦情を62件受理。市政だよりによる広報や各地域での自治会回覧及び広報塔による広報を行った。
モニタリングデータの有効活用	環境保全課	継続してホームページでリアルタイムに公開。
近隣市町村との連携	環境保全課	環境行政連絡協議会において、県内市町において発生している問題に関して協議を行った。
規制対象工場・事業場の監視	環境保全課	住友各社13排水口を立ち入り調査。排水基準を超過した地点は無かった。
汚水処理施設の指導	下水道管理課	公共下水道への接続事業場の排水調査を13箇所実施した。

項目	課名	平成20年度の取組状況
農薬・化学肥料の軽減	農林水産課	農協及び愛媛県東予地方局産業振興課が中心となり、農家を助言・指導した。
生活排水処理施設の整備	環境保全課	浄化槽設置整備補助 5人槽 48基、7人槽 4基、 10人槽 1基
	下水道建設課	平成21年度、公共下水道(汚水)を43.37ヘクタール整備した。
生活排水対策の実践活動	環境保全課	パンフレットの配布により啓発に努めた。
河川の水質調査・監視体制の充実	環境保全課	市内河川13地点を年4回調査した。
農薬・肥料の適正使用	農林水産課	農協及び愛媛県東予地方局産業振興課が中心となり、農家を助言・指導した。
対象施設の定期的な環境調査の充実	環境施設課	清掃センター周辺の大気・排水の分析調査を実施した。
地下水調査の実施	環境保全課	継続し、2地点で有害物質の調査を行った。
	水源管理課	水位観測所12箇所連続観測を行った。
地下水適正利用	水源管理課	上水道における適正な取水に努めた。
工場・事業場に対する悪臭対策	環境保全課	5件の悪臭苦情を処理した。
畜産・水産業に対する悪臭対策	農林水産課	日頃から臭気対策をお願いするとともに、苦情があれば、個別指導を行った。廃棄する水産物は、漁協毎に廃棄物処理業者に委託して処理している。
日常の家庭生活に起因する悪臭の防止	環境保全課	4件の悪臭苦情を処理した。
複合臭対策	下水道建設課	平成21年度、公共下水道(汚水)を43.37ヘクタール整備した。
自動車騒音・振動の監視・観測体制の充実	環境保全課	市内5区間の道路交通騒音を調査
幹線道路網の整備	道路課	<ul style="list-style-type: none"> ・新居浜駅菊本線一工事 ・西町中村線一用地買収・工事 ・角野船木線一用地買収・工事

項目	課名	平成20年度の取組状況
沿道環境対策	道路課	<ul style="list-style-type: none"> ・新居浜駅菊本線一工事 ・西町中村線一用地買収・工事 ・角野船木線一用地買収・工事
交通ルール・運転マナーの向上	広報相談課	園児から高齢者にいたる全ての市民に対し、交通安全教室(年間148回延べ人数15,895人)を開催し、交通ルールの周知と交通マナーの向上を啓発した
工場・事業場の騒音・振動対策	環境保全課	平成20年度の特設施設設置の届出は騒音6件、振動1件、県条例2件であり 事業所、資材置場等での騒音苦情件数は12件、振動苦情件数は1件であった
	商工労政課	市の企業用地への立地申請書に公害防止対策計画も提出してもらっている。
建設作業における騒音・振動対策	環境保全課	平成20年度の特設建設作業の届出件数:騒音9件、振動6件、特定作業66件 建設作業に伴う騒音苦情2件、振動苦情0件であった。
市民への意識啓発	環境保全課	平成20年度のカラオケ、近隣騒音の苦情件数は件であった。
定期的な環境調査の検討	環境保全課	県において調査
特定施設等の監視	環境保全課	県において調査
環境調査の充実	環境保全課	県において調査
健康被害・影響調査による実態把握	保健センター	市民からの症状に関する問い合わせ内容に応じて医療機関を紹介
PRTR制度の普及	環境保全課	ポスターの掲示
安全な食品・食材の検討	保健センター	添加物等、食品表示については、保健所が管理、指導を行っている。
迅速な情報提供	保健センター	保健所の指導のもと、必要な情報を広報した。
安全な食品・食材の使用	学校給食課	「学校給食衛生管理の基準」に基づき、食材の安全性を検討し、無添加食品や安全で新鮮な地元農産物の使用に努めた。
食品リサイクルの推進	学校給食課	多喜浜小学校及び学校給食センターにおいて、調理くず、食べ残しを堆肥化し、食品リサイクルを推進した。

②自然を大切にすまち(自然環境の保全)

項目	課名	平成20年度の取組状況
希少種自生地の保護	環境保全課	ツガザクラ等の保護のため、保護柵等の維持管理、定点観測。
	運輸観光課	市HP「赤石山系登山案内」で高山植物の採取の禁止とゴミの持ち帰りを啓発した。
自然観察会・自然学習会の推進	環境保全課	自然観察会を滝の宮公園で1回実施した。
市民や観光客への意識啓発	環境保全課 運輸観光課	市政だより8月号で、観光週間(8/1~8/7)にあわせ、観光地の美化推進についての協力依頼記事を掲載した。
人工針葉樹林の計画的森林施業	農林水産課	前年度に引続き、人工林59.84haの森林施業を実施した。また、森林整備に必要不可欠である林内作業路4,867mを開設した。
公的森林管理の推進	農林水産課	(財)愛媛の森林基金へ負担金を拠出するとともに、森林所有者13名、放置森林14haを斡旋し、間伐等の森林整備が実施された。
森林管理システムのモデル事業	農林水産課	別子山地域において、54.58haの間伐等及び作業路726mを開設した。また、角野中学生12名を対象に模擬林内作業体験など学習会を開催した。
林業後継者の育成と確保	農林水産課	いしづち森林組合を中心に、各種研修会を開催するなど、後継者の育成に努めた。
生産基盤の整備	農林水産課	前年度に引続き、森林・林業の生産基盤である林道の開設を行った。
公共施設への国産材(地元材)の使用	建築住宅課	「活性化推進住宅」の建設場所が決定し、用地買取を行った。今後は、地元材を使った住宅の設計に取り掛かる。
間伐材の有効利用	農林水産課	林内作業路の開設及び林業機械の導入による低コスト林業の推進を図った。
森林ボランティア活動の推進	農林水産課	愛媛県、関連団体等と連携し森林ボランティア活動を実施した。
遊休農地の活用	農林水産課	自然農園の確保、開設に取り組んだが、新規開設は無かった。
	農業委員会	市内3カ所に景観形成作物(ヒマワリ・菜の花、ポピー等)を植え付け、開花時期に園児を招待する。

項目	課名	平成20年度の取組状況
いろいろな働きを持つ緑地の整備	農林水産課	レンゲの種子を希望者に配布し、遊休農地化が心配された農地をレンゲ畑とし、農地の地力の維持を図る事業を支援した。
優良農地の確保	農林水産課	認定農業者等担い手の育成に努め、農地の集約化、優良農地の確保を図った。
	農業委員会	貸し手借り手を利用権設定に結びつける。
就農者への支援	農林水産課	農協、愛媛県東予地方局産業振興課とともに就農相談会を開催し、新規就農者の確保に努めた。
地域営農体制の確立	農林水産課	愛媛県東予地方局産業振興課、農協とともに大生院営農推進会が実施する事業に協力した。
環境保全型農業の推進	農林水産課	愛媛県東予地方局産業振興課、農協とともに啓発活動に努めた。
散乱ごみの除去	下水道建設課	河川水路の草刈りやヘドロ浚渫を実施し、同時にごみ除去も実施した。
	ごみ減量課	7月27日に第22回市民一斉清掃を実施した。
	市民活動推進課	引き続き、市及び県のアダプトプログラムによる支援を継続。
「清流再生」重点河川の指定	市民活動推進課	引き続き、市及び県のアダプトプログラムによる支援を継続。
海岸保全施設の整備	下水道建設課	愛媛県により、沢津海岸で突堤の補修工事を実施していただいた。
	農林水産課	繰越事業となった陸間部分の工事が完成した。
資源管理型漁業	農林水産課	漁業者が実施する抱卵ガザミ放流事業等を補助した。
就業者への支援	農林水産課	新居浜市漁業振興対策協議会において、漁業就業者への支援制度等について説明を行った。

項目	課名	平成20年度の取組状況
廃棄物海面処分場の整備	環境施設課	H20 完了
	港湾課	H19 完了
急傾斜地等の災害対策	都市計画課	急傾斜地において県が施工する急傾斜地崩壊対策事業4箇所を早期完了を促進する。
	下水道建設課	9溪流で砂防ダム等の工事が完了している。
保安林の整備	農林水産課	谷止工等の治山工事を実施し、保安林内の整備を図った。
ため池・農地災害対策	農地整備課	ため池等整備事業により新田池の整備を実施した。
防災に配慮した都市基盤整備	都市計画課	一時避難地となる、公園の少ない中萩校区に新規公園の計画をおこなった
	防災安全課	洪水避難時における水路への転落対策や避難所までの誘導標識の設置場所について検討を行った。
防災システムの整備	総務警防課	消防・防災における、各消防関係機関との通信・指令の維持管理に努めた。
開発許可制度の適正運用	建築指導課	「開発許可申請の手引き」の周知及び開発許可基準の統一的指導の実施、公共施設(開発道路等)の帰属の徹底を図った。
農地転用許可制度による規制	農業委員会	農地法に従い適正に転用許可の規制を行った。
秩序ある土地利用	都市計画課	用途地域及び特定用途制限地域の都市計画変更を行った。
住工分離の促進	商工労政課	19年度構築した工業用地の空き情報を提供するシステムを機会をとらえ、PRした

③まち並みを大切にすまち(魅力ある都市空間の形成)

項目	課名	平成20年度の実施状況
自然と歴史を残す既存緑地の保全と活用	都市計画課	ごみの収集・除草作業などのボランティア活動(里親登録者以外も含め)が活発に行われた。
	体育文化課	滅失の恐れがあった市指定天然記念物に対して補助金を交付した。
自然環境学習の場の充実	農林水産課	森林や自然に親しめる場として、親子野外教室やボーイスカウトの研修等に会場の提供を行った。
	運輸観光課	第3セクターである㈱マウントピア別子が「鹿森・大永山を歩こう会」を、(有)悠楽技が「ゆらぎの森で別子山を学んで別子銅山の遺構が残る別子古道を登山する会」を開催した。
	都市計画課	黒島海浜公園の適正な維持管理に努めた。また老朽化した遊具の補修工事を実施した。
街区・近隣公園の整備	都市計画課	船木公園の遊具の更新や適正な維持管理に努めると共に、中萩校区に新規の近隣公園の計画をおこなった。新居浜駅前地区に1箇所、街区公園が新設された。
総合公園・風致公園の整備	都市計画課	適正な維持管理に努めると共に、池田池公園のトイレの水洗化及び、多目的トイレの設置工事を行った。
河川・水路・海岸の親水整備	下水道建設課	愛媛県が実施している尻無川の護岸改修工事で、河川に下りられるような階段を設置していただいた。
市民参加による公園づくり	都市計画課	池田池・中央公園などでの花植え作業や国領川緑地などでのゴミ回収・除草作業など多くのボランティア作業による公園美化活動が行われた。
	市民活動推進課	「黒島ドッグパーク」「東田泉公園」「新居浜公園」「滝の宮公園」「黒島海浜公園」などで、「アダプトプログラム」による活動が継続されている。
公共施設の緑化	都市計画課	中萩校区に新規の近隣公園の計画をおこなった。新居浜駅前地区に1箇所、街区公園が新設された。
	道路課	<ul style="list-style-type: none"> ・新居浜駅前線一工事 ・西町中村線一用地買収・工事 ・角野船木線一用地買収・工事
人にやさしい道路空間の整備	道路課	<ul style="list-style-type: none"> ・滝の宮山根線(自歩道)整備 ・原地庄内線歩道バリアフリー化 ・宮北通り線歩道整備
沿道の修景整備	都市計画課	緑のまちづくり事業として、花苗を年2回中央公園など7箇所に配布し、修景整備に努めた。

項目	課名	平成20年度の取組状況
安全な通学路・歩道の整備	道路課	<ul style="list-style-type: none"> ・滝の宮山根線(自歩道)整備 ・原地庄内線歩道バリアフリー化 ・宮北通り線歩道整備
	区画整理課	地区内道路歩道整備 駅前滝の宮線 区画道路(16-2号線)
生活道路沿いの水路の保全・整備	農地整備課	適正化事業1箇所整備実施。
まちづくり施設のバリアフリー化	都市計画課	池田池公園の既設トイレに多目的トイレを設置し、バリアフリー対策を行った。
	社会教育課	大生院公民館については、身障者対応とまではいかないが、男女1基ずつ洋式トイレへの改造及び手すりの設置を行った。新金子公民館については、今年度中に竣工予定。
	港湾課	フェリーターミナルトイレをオストメイト対応に改修した。
高齢化社会に対応した居住環境整備	建築住宅課	建築住宅課にて管理している市営住宅のうち階段手摺の設置がなされていない住宅について手摺の設置を計画的に行った。
指定文化財の保護	体育文化課	市指定文化財「金胎両界曼荼羅」、市指定天然記念物「大久保のエノキ」、「アッケシソウ」の保護を図った。
文化財調査・研究の推進	体育文化課	上小深遺跡の発掘調査で出土した遺物の整理作業を実施し、発掘調査報告書を発行した。
文化財の活用	体育文化課	平成19年度に発行した「新居浜の文化財」の配布に努めた。
郷土資料の保存体制の確立	図書館	地域資料の収集を行った。寄贈された郷土資料の仕分け・受け入れを行った。
伝統・伝承文化の保存	体育文化課	第6回郷土芸能発表会に向けて、関係団体との協議を実施した。
伝統行事の継承と育成	運輸観光課	子ども太鼓が運行する「春は子供天国事業」や「新居浜市太鼓祭り推進委員会事業」を支援した。
近代化産業遺産の活用	別子銅山文化遺産課	別子銅山保存活用連絡調整会で産業遺産の保存・活用を検討した。山田社宅の現況調査を実施した。旧山根製錬所煙突を新居浜市の所有とした。別子銅山に関する幹部研修を実施した。
	体育文化課	広瀬歴史記念館で特別企画展を開催、旧広瀬邸にて『第2回台所喫茶』を催した。

項目	課名	平成20年度の取組状況
田園景観の保全	農林水産課	遊休農地化を防止するため、自然農園に活用できる農地を所有する地主の募集に努めた。
快適な交通軸としての道路景観づくり	道路課	<ul style="list-style-type: none"> ・新居浜駅菊本線－工事 ・西町中村線－用地買収・工事 ・角野船木線－用地買収・工事
景観スポットの保全	運輸観光課	マイントピア別子、東平記念館、森林公園ゆらぎの森、別子観光センターなどの景観維持に努めた。
まち並み景観指針づくり	都市計画課	平成19年2月に「新居浜市都市計画マスタープラン」を見直し、景観形成等の整備方針を策定し、景観計画の策定に向けた準備を進めた。



<平成の名水百選に選ばれたつづら淵>

④資源・エネルギーを大切にすまち(循環型社会の形成)

項目	課名	平成20年度の取組状況
市の率先購入	環境保全課	グリーン購入ガイドラインに沿ってグリーン購入の推進を図った。
住宅の省エネルギー化の推進	建築指導課	省エネルギー法にかかる共同住宅の届出に伴う審査・指導
工場や事務所ビルの省エネルギー化の検討	建築指導課 環境保全課	省エネルギー法にかかる建物の届出に伴う審査・指導
市庁舎や他の公共施設の省エネルギー化	管財課 介護福祉課	介護福祉:基本設計実施設計完了
家庭での省資源・省エネルギー活動の推進	環境保全課	環境家計簿記帳モニターを募集し普及啓発に努めた。
環境に配慮した事業活動への転換	商工労政課	東予産業創造センターと連携し、ISO取得の相談指導などを引き続き行った。
市の率先行動	環境保全課	グリーン購入ガイドラインに沿ってグリーン購入の推進を図った。
市民・事業者への支援	市民活動推進課	省資源・省エネルギーに関する講座を9回開催(内訳:「行政編」4回、「公共公益企業編」2回、「市民団体編」3回)
省資源・省エネルギー教育の推進	学校教育課	教科、総合的な学習の時間で省資源・省エネルギー教育を実施するとともに、常時活動で環境保全活動や子ども環境サミット、スクールエコ運動を実施した。
公共施設への新エネルギー導入	介護福祉課	介護福祉:基本設計実施設計完了
リサイクルエネルギーの有効活用	環境施設課	平成16年度以降、ごみ焼却の際に発電を行い、電力を清掃センター場内に供給している。
低公害車等の導入	管財課	低公害車(軽四箱バン)3台購入。
井戸・湧水池の保全	農地整備課	揚水機取替及び機器不具合箇所補修実施。
森林・農地の保全整備	農林水産課	県営事業として、治山事業を実施し森林の機能保全に努めた。

項目	課名	平成20年度の取組状況
水道水の安定供給	工務課	川西と川東給水区間のライフライン強化を図り、φ 150mm以上の水道管布設個所の耐震化と老朽及び漏水多発配水管の布設替を実施した。
水利用の見直し	総務料金課	水道週間に小学生を対象に施設見学、体験学習を実施し、また市HPで、地下水位の状況を掲載し、水道に対する啓発活動を行った。
中水利用システムの検討	建築住宅課	今後も環境保護の観点から、水洗トイレ等の放流水を施設外へ放流しないいわゆる「循環型浄化槽」を計画する。
雨水浸透施設の整備	下水道建設課	開発工事において、雨水浸透柵の設置や透水性舗装の実施を指導要請した。
	道路課	透水性舗装 ・原地庄内線歩道バリアフリー化A=430㎡ ・宮北通り線歩道整備A=1,426㎡
マイバック運動の推進	環境保全課 ごみ減量課 広報相談課	にはま環境市民会議の委託事業として、11月にマイバッグフォーラムを開催した。
不用品利用・交換制度の充実	ごみ減量課	登録件数101件 成立件数 47件
事業系ごみの減量化の促進	環境施設課	H19年度より処理手数料の増額変更を実施し、受付で搬入業者への周知を行うとともに、適正な搬入を指導した。
	ごみ減量課	H20.4.1より処理手数料改定条例施行
家庭用生ごみ処理容器等の購入助成事業の推進	ごみ減量課	コンポスト 100基 補助額 289千円 水切り容器33基 補助額 36千円 電気式 85基 補助額 1,700千円
学校給食等の生ごみ堆肥化	学校給食課	多喜浜小学校及び学校給食センターにおいて、調理くずや食べ残しを堆肥化した。学校給食センターで堆肥化されたものは、各小中学校へ配付した。
リサイクル関連法による徹底	商工労政課	大規模小売店舗の立地に際しての依頼を行った。
	都市計画課	リサイクル法に基づき、500万円以上の該当工事について事前届出を行った。
	建築指導課	リサイクル法による届出の周知・徹底

項目	課名	平成20年度の取組状況
資源ごみの回収システムの検討	ごみ減量課	平成21年10月1日からの分別変更に合わせて、清掃センター内にリサイクル棟を整備した。
プラスチック・古紙等のリサイクルシステムの確立	ごみ減量課	
リサイクルプラザの整備	環境施設課	現リサイクルプラザの機能維持が実施できた。また、H20・21年度の2か年で新しいリサイクル推進施設の建設を行っている。
店頭回収システムの確立	商工労政課	大規模小売店舗の立地に際して、廃棄物の減量及びリサイクルについての配慮がなされているか現地確認した。
資源回収団体への支援	ごみ減量課	資源ごみ集団回収推進事業として187団体に対して奨励金を交付した。 回収実績2,465t、奨励金額10,603千円
市による率先行動	環境保全課	グリーン購入ガイドラインに沿ってグリーン購入の推進を図った。
市民・事業者へ利用促進の啓発	広報相談課	消費生活モニター研修会で省資源エネルギーの学習会を開催し、利用促進を啓発した
	環境保全課	グリーンショップ・オフィス認定事業所として、ホームページで公表することにより、市民の皆様へ利用の推進を図った。
事業系ごみのリサイクル推進	環境施設課	新リサイクル施設の安定稼働のため更なる分別の徹底を図った。
グリーンショップ等の宣誓店舗と活動の紹介	環境保全課	グリーンショップ・オフィス認定事業所として、ホームページで公表することにより、市民の皆様へ利用の推進を図った。
「ごみ分別辞典」の作成	ごみ減量課	ごみカレンダーを各戸配布し、転入者や希望者に窓口配布を行い、ごみ辞典も庁内印刷機にて印刷し窓口配布を行った。
分別収集体制の整備充実	ごみ減量課	新分別区分での収集業務委託発注準備・コンテナ・ネット使用による資源物収集の準備等の体制整備を行った。
家庭系ごみの有料化の検討	ごみ減量課	市民、自治会から様々な意見や要望をいただき、これらのご意見やご要望について検討した結果、平成21年10月実施については、見送ることに決定した。
大型ごみ回収ルールの確立	ごみ減量課	収集実績13,739件。申し込みによる戸別収集を継続して実施。家電リサイクル品の収集運搬については平成21年度から行わず民間業者の引取りの利用を市民に広報する方針を決定した。
ごみ処理施設の適正管理	環境施設課	平成21年10月のごみ分別の変更に向け、処理方法の見直しを実施すると伴にごみ処理施設の適正管理を実施した。

項目	課名	平成20年度の取組状況
埋立処分量の軽減	環境施設課	平成20年度より、布団類、大型プラスチック類、雑ごみを中間処理することにより、埋立ごみの減量化を図った。
し尿処理施設の改善	環境施設課	機器の故障、施設のトラブルを未然に防ぎ、施設の延命化のために日常の点検、整備を実施した。
排出事業者へ減量化の指導強化	環境施設課	中間処理が開始される布団類、大型プラスチック類、雑ごみについて、搬入業者への適正処理指導を実施した。
処理業者へ適正処理の指導強化	ごみ減量課	一般廃棄物処理業許可(更新)申請について審査を行った。
	環境施設課	一層の分別指導を実施し、適正処理の指導強化を行った。
周辺環境調査の実施	環境保全課	県において調査
農業・水産業廃棄物の適正処理	農林水産課	農協によって廃ビニールの回収が実施された。また、漁場廃棄物回収事業により、漁網にかかったゴミの回収用のゴミ袋、回収費、陸揚げ、運搬、処分を実施した。
ポイ捨て防止の徹底	ごみ減量課	環境美化推進員と連携を図るとともにポイ捨て禁止看板の配布を実施した。
不法投棄パトロールの充実	ごみ減量課	パトロール車による重点地区のパトロールと投棄物の回収を継続して行った。
環境美化推進体制の充実	ごみ減量課	環境美化推進員を委嘱し、各地域において独自の活動を実施。
	市民活動推進課	引き続き、アダプトプログラムによる活動を継続。
ごみステーション管理の充実	ごみ減量課	ごみステーション看板及び啓発用掲示物を、ステーション管理者である自治会等の要望により作成・配布を行なった。廃材利用の飛散防止ネットは在庫分を全て配布した。
屋外広告物の改善・撤去や不法占拠に対する指導	都市計画課	愛媛県屋外広告物条例に基づき申請事務を行った。また屋外広告業者へ、条例遵守についての文書とパンフレットを送付した。
電線地中化の検討	区画整理課	駅前滝の宮線 電線共同溝区間の整備
環境美化重点地区指定の検討	ごみ減量課	地区ごとに環境美化対策事業は実施している。

項目	課名	平成20年度の取組状況
河川美化活動の推進	下水道建設課	東川と尻無川の愛媛県と管理協定を締結している区間について除草を実施した。
	市民活動推進課	引き続き、市及び県のアダプトプログラムによる支援を継続。
海岸美化活動の推進	ごみ減量課	清掃奉仕ごみの収集を行った。
	市民活動推進課	引き続き、市及び県のアダプトプログラムによる支援を継続。
自治会活動への支援	市民活動推進課	平成20年度には、1自治会と合意書を締結した。



<市民一斉清掃>

⑤かけがえのない地球を大切にすまち(地球環境の保全)

項目	課名	平成20年度の取組状況
温室効果ガスの排出量実態調査の検討	環境保全課	国のガイドラインに基づき統計資料を基に市域から排出される温室効果ガス総排出量を算出した。
「新居浜市地球温暖化対策率先行動計画」の策定	環境保全課	平成20年度の温室効果ガス排出量は、廃プラを試験的に焼却処分したため、14%増の34,255t-CO2となった。
エコライフ等の推進	環境保全課	出前講座(3回開催)において、各家庭からできるエコライフについて広報した。また、環境学習講座を年間8回行い、市民への意識啓発に努めた。
環境家計簿の普及啓発	環境保全課	市政だより4月号で環境家計簿記帳モニターを募集し、116人から1年間(4月分から3月分)のデータを提出してもらった。
事業所のISO取得支援	商工労政課	東予産業創造センターと連携し、ISO取得の相談指導などを引き続き行った。
学校でのエネルギー教育等の推進	学校教育課	教科、特別活動、総合的な学習の時間におけるエネルギー教育を実施
顕彰制度	市民活動推進課	平成19年度から環境美化推進協議会の顕彰制度と連携を行っており、今年度も該当者を協議会に推薦した。
オゾン層・紫外線に関する情報提供	学校教育課	教科、総合的な学習の時間において環境教育を実施した。
緑化ボランティア等への参加	農林水産課	森林ボランティア団体「石鎚水源の森くらぶ」の活動に参加。
国産材の使用促進	農林水産課	林内作業路の開設及び林業機械の導入による低コスト林業の推進を図った。



<にいほま環境学習講座“ネイチャーゲーム”>

⑥人を大切にするまち(環境教育・学習の推進)

項目	課名	平成20年度の取組状況
生涯を通じた教育・学習プログラムの整備	市民活動推進課	環境に関する出前講座が13回開催された。(内訳:「行政編」8回、「公共公益企業編2」回、「市民・団体編」3回)
体験学習を重視	市民活動推進課	生涯学習センターにおいては、生涯学習大学で体験学習の一つとして、「きれいな環境を未来へひきつぎたい」などの内容の講座を実施した。
	学校教育課	総合的な学習の時間、夢広がる学校づくり事業やスクールエコ運動や子どもエコクラブなどによる体験活動を実施。
環境リーダーの養成	環境保全課	にいほま環境学習講座を開催し、一般市民にも広く環境についての関心や知識を持ってもらうように努めた。
環境リーダー養成講座の充実	環境保全課	にいほま環境学習講座を8回開催。
市の環境リーダーの養成	学校教育課	スクールエコ運動認証校、こどもエコクラブの指導的立場の教師は積極的に自己研鑽に務める。
「市民の森」の整備充実	農林水産課	維持管理業務の充実を図った。
「黒島海浜公園」の整備充実	都市計画課	黒島海浜公園の適正な維持管理に努めた。また老朽化した遊具の修繕工事を実施した。
「ゆらぎの森」の整備充実	運輸観光課	観光客にも人気があるカククリやクマガイソウ、キレンゲショウマ、レンゲショウマ、大文字草を園内で咲かせたり、パゴラ藤祭りや大文字草祭りなどのイベントを開催した。
学習機会や行事の充実	環境保全課	自然観察会、環境講座を実施し、多くの市民参加の参加を呼びかけた。
環境意識の定着	広報相談課	消費生活モニター研修会において地球温暖化・省エネについて学習した
子育てネットワーク	社会教育課	家庭教育講座及び乳幼児学級などの機会を通じて環境学習を行うとともに、参加者間の口コミによる環境意識醸成及び向上を推進した。
命を大切にする教育	児童福祉課	十分行き届いた環境の中で、子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図り、一人一人の子どもの生存権を保障する保育を家庭と協力しながら実践した。
	学校教育課	道徳教育を初め、全教育活動を通して、命を大切にする教育を実施する。

項目	課名	平成20年度の取組状況
モノを大切にせる教育	児童福祉課	「地球にエコしよう!ええことしよう!」と園児と共に地球環境について関心を持つよう、保育を通してゴミを増やさない取り組みをした。
	学校教育課	全教育活動を通して、モノを大切にせる教育を実施
体系的な指導プログラム	学校教育課	各教科や総合的な学習の時間などで環境学習を実施。
環境課題の取組	学校教育課	総合的な学習の時間、夢広がる学校づくり事業、県指定研究事業、スクールエコ運動、常時活動等により、省エネルギー教育やゴミの分別排出、リユース、リサイクル活動などの体験活動を通じて環境問題解決の行動力を養う。
環境にやさしい学校づくり	学校教育課	スクールエコ運動、夢広がる学校づくり事業、常時活動等で環境にやさしい学校づくりに取り組んだ。
教職員の環境観の確立	学校教育課	子ども環境サミット等を通じ、参加した教職員の環境教育に対する啓発を行う。
生涯学習大学の環境講座の充実	市民活動推進課	生涯学習大学の自主講座において、「新居浜環境講座」を企画立案し、実施した。
地域の教育諸力の活用	社会教育課	公民館いきいきプラン推進事業及び国の委託事業の中で、環境美化活動に取り組んだ。特に、学校支援地域本部推進事業においては、子どもを中心に地域・家庭・学校が連携した環境美化活動に取り組むなど、地域の教育力を活用した活動に取り組んだ。
環境ボランティアの育成	市民活動推進課	ボランティア(個人)育成を直接目的とするものではないが、さまざまな分野の公益的な市民活動に対して中間支援を行う「まちづくり協働オフィス事業」を実施。人材育成事業ほか各種事業を展開した。
環境保全団体等への支援と連携	市民活動推進課	環境をはじめさまざまな分野の公益的な市民活動に対して中間支援を行う「まちづくり協働オフィス事業」を実施した。
環境に配慮した事業活動への支援	商工労政課	企業立地促進条例による環境保全施設等奨励金を通じて、環境に配慮した事業活動の支援を実施。
メセナとしての支援活動への呼びかけ	社会教育課他	「にいほま環境市民会議」で実施する事業についての、広報活動(公民館だよりへの記事掲載)に協力した。
	ごみ減量課	H20.10に「新居浜市レジ袋削減推進協議会」を設立。H21.3.27にレジ袋削減に関する協定を締結した。
「(仮)にいほま環境市民会議」の設置	環境保全課	H19. 7. 26設立済み。

項目	課名	平成20年度の取組状況
「(仮)にいほま環境ひろば」の設置	環境保全課	にいほま環境市民会議への業務委託により、活動空間『環境ひろば』の広がりができた。
広報誌・ホームページの活用	環境保全課	ホームページ、市政だより、ちらし等で自然観察会、講演会等の参加を呼び掛けた。
家庭ごみの有料化	ごみ減量課	市民、自治会から様々な意見や要望をいただき、これらのご意見やご要望について検討した結果、平成21年10月実施については、見送ることに決定した。
環境関連産業の育成	商工労政課	東予産業創造センターによる環境関連商品の事業展開相談による支援を行った。
環境管理(マネジメント)システムの導入	商工労政課	東予産業創造センターと連携し、ISO取得の相談指導などを引き続き行った。
ライフサイクルアセスメントの普及	商工労政課	東予産業創造センターと連携し、相談指導などを行うこととした。
アダプトプログラム制度の活用	市民活動推進課	平成20年4月1日より新居浜市公共施設愛護事業に名称変更し、引き続き、アダプトプログラムの活用を推進。
地区協定・緑化協定の活用	都市計画課	景観計画策定に向け準備を進めているが、地区協定・緑化協定については、必要性、住民理解という点で具体的取り組みに至っていない。
地区計画の導入	都市計画課	用途地域及び特定用途制限地域の都市計画を変更した。
「環境保全行動計画」の策定	環境保全課	H17年3月策定済み。 毎年、設定済みの目標数値の進行管理を実施している。



<にいほま子ども環境サミット>